

## ～【生徒総会を開催しました】～

先週の金曜日には、令和3年度の生徒総会を開催しました。生徒会三役の生徒的的確なリードの下、3つの議題について話し合いました。第一号議案が、各委員会からの年間活動計画について、第二号議案が「タブレットの使い方」について、第三号議案が「よりよい学校生活にするためには」についての提案でした。本年度になって初めて体育館で全学年が揃う場面でした。(感染予防対策はしっかりと講じておりますので、ご安心ください。)

こうした場面になると、必ず悪乗りして笑いをするような言動が多少はあるのが常ですが、この総会に関

しては皆無でした。鹿南中の生徒はTPOをわきまえる、ということがよく分かっていると感心しました。

さて、学校というところは、一部の生徒が100%楽しんで、他のたくさんの生徒が20%程度の楽しさしか感じていない、という場所では決してあってはなりません。すべての生徒が少しずつ我慢して、生徒全員が80%の楽しさで生活すべきところです。

それぞれ異なる家庭、環境から集う生徒が学習し成長しようとする場所が学校です。そこには当然のことながらマナーや決まりが不可欠です。その分楽しさ100%ではなく80%としましたが、その決まりを先生たちから一方的に押し付けられるのではなく、生徒会を中心に、自分の学校の課題を見つけ、その課題を克服するために何が必要か、そのためにはどんなきまりが必要か等を考え、実行する学校。つまり「生徒の、生徒による、生徒のための学校づくり」ができるようになったとき、学校生活の本当の楽しさ、充実感を体験することができると思います。それは私が4月にお知らせした、鹿南中の本年度の教育目標「自律と協生」の実現に向かうことに他なりません。

保護者の皆様へ。SNSによるトラブルが全国的に頻発しているようです。毎日とは申しませんが、少なくとも週1回は子どもさんのスマホをチェックしてあげてください。子ども達を、スマホによるトラブルの被害者にも、加害者にもしたくありません。どうかご協力をお願いします。学校と家庭で力を合わせて、子ども達を守りましょう。



【生徒会三役の皆さん】

生徒、先生方も全部ひっくるめて、今のメンバーが揃うのは今年1年のみです。この1年の出会いを一つの縁ととらえ、力を合わせて鹿南中を今以上に活気のある、素晴らしい学校にしてほしいと思います。

## ～【からかい=いじめ】～

月曜日の新聞で、北海道登別市の中1の男子が自殺した事件について報じられていました。新聞によると、彼が所属していた部活動は部員が好きなようにプレーして楽しむ場所で、練習中に「デブ」などのからかいが日常的に飛び交っていた。周囲も(学校も含め)、これを重く受け止めていなかった、ということです。

こうした場面でからかった集団を指導していると、自分たちもからかったのは悪かったが、からかわれた方も笑っていた。だから僕らだけ怒られるのはおかしい、という生徒がよくいます。

違います。からかわれた生徒は顔で笑っても、心で泣いていたのです。泣きたくても泣けなかったのです。泣いたらよけいにかからわれるからです。本当にやさしい生徒は、悲しそうな目で笑顔を作っている人の心を理解してくれます。

生徒の皆さん、人の言葉は大きな力を持っています。何気ない、ほんの一言で人の心をズタズタに引き裂き、その人の命を奪うことさえあります。同時に、やさしさと思いやりに満ちたたった一言で、その人の一生の支えとなり、希望の光となることもあります。

言葉は時には刃となり、時には心の柱ともなるのです。

北海道の事件で亡くなった生徒の命が決して無駄にならないよう、私たちも言葉遣いには十分注意したいものです。命が失われた後、「あれはからかいだった。」ではすまされません。からかい=いじめ、なのです。



【生徒総会の一場面】

鹿南中学校HPのQRコードです。随時更新し、学校生活の現状をお知らせしています。スマホの「お気に入り」にぜひ登録してください。

